

みどいの 大地

こうなる前に草地を確認!
(黒っぽい穂がメドウフォックステイル)

平成26年5月24日撮影

強害雑草
「メドウフォックステイル」に要注意

牧草地における強害雑草として、近年メドウフォックステイル(以下MFT)が注目されています。

MFTは、チモシーなどの牧草に比べ出穂・開花が著しく早く、牧草の収穫時期には、すでに発芽能力を持った種子が大量に結実し、蔓延していきます。

全道的には、日高地方から釧路地方にかけて太平洋沿岸を中心に拡大傾向にあります。当管内でも、以前から発生は確認されてきましたが、徐々に侵入が進んでいます。

主に、経年劣化した牧草地で大発生している傾向があることから、当該ほ場では、草地更新時における計画的な雑草防除が必要となります。

普及センターでは、平成25年より、MFTの発生状況と拡散度合いを継続して調査しています。

また、平成26年より、別海町上春別地区で、MFTが蔓延しているほ場に、サイレージ用とうもろこしを栽培することによる防除効果を現地実証しています。

MFTの判別及び防除対策の詳細は、普及センターにご相談下さい。